|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(9)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | |
| 2025年3月2日　週間祈りカード | | |
| △区域メッセージ第９週  Holy Mason(ロマ16:27) | △聖日１部  モーセとミリアムの賛美(出15:19-21) | △聖日２部  最初の試み(出15:22-27) |
| △最近、病んでいる人が多く、がんの患者が多い。それゆえ、私たちは朝には集中する時間、昼には味わう時間、夜には答えを得る時間を持って、長く安らかに呼吸しながら祈れば、根源的なことが癒やされ、昼にはすべてを祈りに変えて、夜には多くの答えを受ける平安の時間を持てば良い。そして、私たちはみことばを聞けば必ず答えが来るか、応答が来て、変化が起こる。  △ヨハ14:16、14:26、16:13 →使1:8  聖霊の働きは、目に見えないように今でも働かれる。「わたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてくださる」「神様がわたしの名で祈れば、あなたがたに助け主聖霊を送られ、すべてのことを教え、思い起こさせてくださる」「聖霊が真理に導き、これから起こることを伝えてくださる」そして「聖霊に満たされると力を受けて証人になる」と言われた。  □序論  神様がアブラハムを呼んで五つの祝福を約束された。  1.契約的祝福-わたしがあなたに示す地に行きなさい。みことばについて行きなさいということだ。  2.根源的祝福-祝福の根源になる  3.代表的祝福- 「あなたによって」私たちが答えを受ければ良い。  4.不可抗力的祝福-あなたに立ちはだかる者はいない。  5.記念碑的祝福- 「あなたの子孫によって国々が祝福を受ける」記念碑を建てれば次世代が見るようになる。  □本論\_ロマ16章  伝道者の支援者、同労者、家主の答え  1.一生の答え-神殿(三つの庭) -一生の答えは幕屋、神殿、教会だ。三つの庭がある所だ。  2.次世代- (金土日時代) -次世代がこの祝福を受けるように金土日時代を作る。  3.237 - 5000 (黙想時代) -世界福音化をするのに、神様が祈りの力を与えられる黙想時代を開く。  御座-祈りだけすれば御座のやぐら、旅程、道しるべを建てることができる。実践はそれからだ。  □結論\_ Mason戦争  1.偶像神殿  2.Free Mason -ネフィリム神殿を作って全地域に瞑想運動を展開している。  3.Holy Mason -神様の神殿を作るのだ。  △この場所に237、5千種族を生かす準備、次世代を生かす準備、24祈りができる、癒やすことができる準備をすべきだ。それが三つの庭で、それを見つけ出すことが金土日時代だ。 | □序論  1.賛美の重要性  1)賛美がないならば礼拝は完全に暗闇になる。  2)エゼ28章神様を賛美していた御使いの堕落→音楽で世界を揺るがしている。  3)賛美は主の御座を動かす。癒やしが起こる。賛美は、私の人生を変えると特別祈りだ。  (1)極限状況で福音を握って賛美を見つけ出したクロスビー  (2)個人礼拝、公の礼拝回復→賛美の人であるダビデ、パウロ、ルターのような答えを受ける。  2.賛美回復が礼拝回復だ。  3.ものすごい記念を残す賛美-紅海を渡ったあとのモーセとミリアムの賛美  □本論\_賛美するときに起こること  1.賛美するとき、御座の祝福が私に臨んで神様に栄光がささげられる。  1)詩22:3賛美の中におられる主  2)詩150:1-6息ある者はみな主をほめたたえよ  3)エゼ28章 音楽を担当する御使いの堕落で奪われた賛美を回復しなさい。  4)御座の力を動かした賛美  (1)ダビデの賛美-詩篇  (2)パウロの賛美-監獄で  (3)モーセとミリアムの賛美(出15章)  2.賛美するとき、暗闇が砕かれ癒やしが起こり神様の力が伝えられる。  1)賛美するとき、暗闇が砕かれる。  2)賛美するとき、御座の背景、神の国のことが成り立つので、癒やす力が臨む。  3)賛美するとき、神様の力がほかの人、次世代に伝えられる。  3.神様は賛美を回復した人と教会を用いられた。  1)神様が用いられた賛美の人々-ダビデ、パウロ、マルティン・ルター  2)音楽戦争-音楽で世界を倒すか、音楽で世界を生かすかだ。  (1)賛美が正しくなされるように祈って、聖歌隊だけサポートする献金をしなさい。  (2)賛美が死ぬと礼拝が死ぬので、死んでしまったヨーロッパ教会-時代ごとに賛美が世界を生かした。  (3)サタンが奪っていってしまった賛美を祈りで回復しなさい。  □結論\_賛美で癒やしが起こる(詩103:20-22)  祈りと賛美を回復することが私たちに最も重要な力になる。賛美と祈りの深いところに入れば、その次のことは神様がなさる。 | 社会に入って最初にすべきことは何か。  最初の試みにあったが、「わたしは主、あなたがたを癒やす者」  職場に行って伝道しようとしなくても、祈っていれば来て、傷を出すようになっている。反対に、ほとんどすべての人が隠している霊的な病気がある。これを癒やすのだ。これが伝道の始まりだ。  RT 7-エジプトを癒やしたヨセフ、イスラエルの民を癒やしたモーセ、ペリシテで傷ついた国家を癒やしたサムエルとダビデ、捕虜になって行った国を癒やしたレムナント  □序論\_ 26節エジプトであったすべての病気を癒やす。  1.奴隷として暮らしたこと自体が病気(霊的状態)  2.奴隷病気　　3.奴隷根性、思想  □本論\_ 25節　神様がイスラエルを試みようと-40年荒野を行かなければならない。  1.出エジプト過越祭を記念しなさいと言われたことを逃しやすい。  1)出3:1-18血のいけにえを献げに行きなさい。力の手であなたとともにいる。  2) 10の奇跡をなされた。  3)過越祭-血を塗った日に解放。荒野の道を行く間に忘れてはならない。  2.紅海体験  1)海の中に導かれた神様　2)エジプトの陣営が行くようにされた。  3)エジプトのすべての陣営を滅亡させられた。  △皆さんが受ける苦難と試みをどのように解釈するのかを説明する。エジプトの偶像の力も、紅海も問題にならない。40年間、ものすごい道を行かなければならない、皆さんの人生で残すことが40年の奥義の中にある。  △試みの二つの奥義-神様の重要なことを啓示する時間、カナンの地に入る人を分別する時間  △皆さんが受ける試み、恐れてはならない。神様が語られる。「エジプトからあなたを救い出さなかったのか、紅海でも救い出さなかったのか」  3.未来　どのようにすべきか。カナンの地に連れて行くには、絶対条件がある。信じて子どもたちに知らせなさい。  1)絶対主権-私のいのちを主管される神様。私がなぜこの教会にいるのか  2)絶対計画-なぜ荒野を行くべきなのか。神様が導かれるのだ。  3)絶対契約が出てくる。そうでなければ、いつも揺れてカナンの地に入れない。  4)絶対旅程が出てくる。  5)絶対目標-カナンの地に行くことと世界福音化は神様の計画だ。  □結論  1.エリム(大きい木) 　　2.十二の泉(選択) 　　3.70なつめ椰子(征服)  出暗闇－エジプト、荒野から出ても無駄だ。ついてくる。暗闇からお前たちを救い出された(コロ1:13)  △神様が皆さんを試みられる。まことのことを与えようと。神様が必要なこと、体験しなければならないことをくださったのだ。陥れば難しいが、陥らなければ土台だ。 |